

# 経営比較分析表（令和元年度決算）

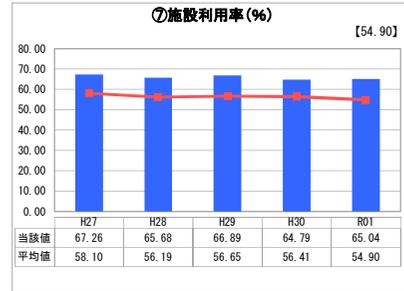
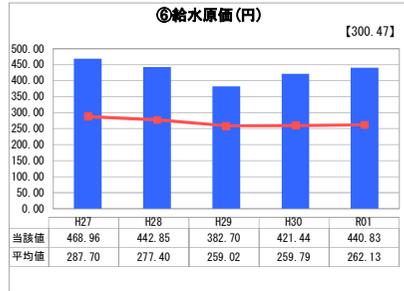
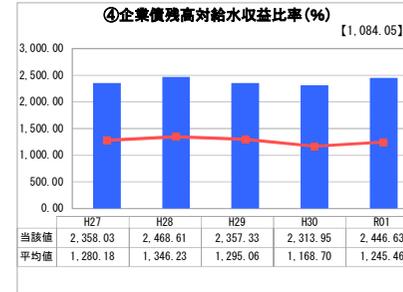
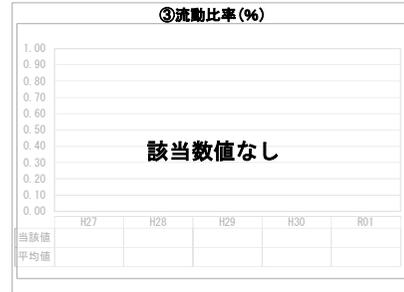
岡山県 美作市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	該当数値なし	26.49	3,135	

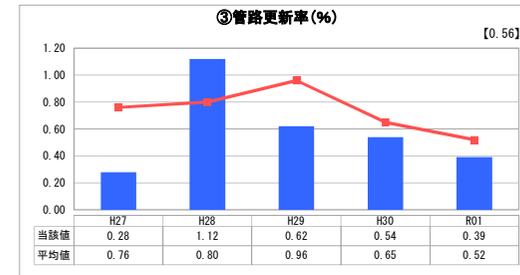
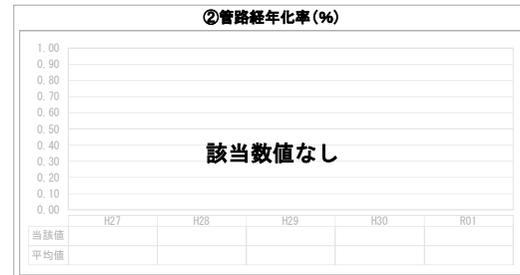
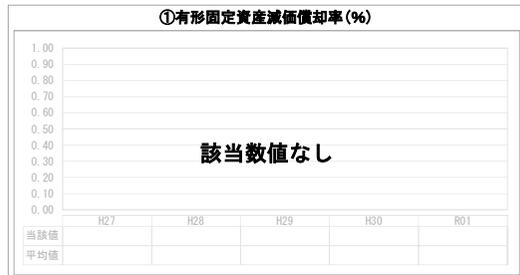
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
27,359	429.29	63.73
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,203	38.98	184.79

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和元年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

経営状況は、収益の収支比率が回復したものの複数年では全国平均を下回っており、また、料金回収率も同様である。これに伴い給水原価が全国平均を上回っており、一般会計からの繰入金に依存している状況にある。

このような状況となった要因は、施設の更新による投資の増加、過疎地域という地域性による事業効率の低下が有るとともに、料金設定が給水原価を大きく下回っていることと要因があると考えられる。このことから、今後は施設投資の抑制等による経費削減を図るとともに、適切な料金設定が必要と考えられる。

④企業債残高対給水収益比率は類似団体平均を上回っている。この要因は施設統合及び老朽管更新による企業債借入により残高が増加したため、今後適切な料金改定を行い、給水収益の増加を図ることが必要と考えられる。

⑧有収率は全国平均及び類似団体平均を上回っているが、今後も計画的に老朽管更新工事を実施し、有収率の向上に努める必要があると考えられる。

### 2. 老朽化の状況について

施設の老朽化は、近年実施した施設の統廃合による更新により、当分の間は問題ないと判断しているが、将来的には懸念されることであるため、計画的に更新が図れるよう施設の維持管理に努める必要が有ると考えている。

③管路更新率が全国平均を下回っているため、計画的に更新率を上げていく必要が有ると考えられる。

## 全体総括

施設の老朽化は、近年実施した施設の統廃合による更新により、当分の間は問題ないと判断しているが、将来的には懸念されることであるため、計画的に更新が図れるよう施設の維持管理に努める必要が有ると考えている。

このことから、R02,4から地方公営企業法を適用し、上水道事業と経営統合を行った。これにより経営の効率化及び適切な料金の設定を図っていく必要が有ると考えている。